

九岐断 (世*) 著述家。生没年不詳。筆名仙橋散士。

著書 『俗國會ノ主意一附日本國會方法論』 (明治十二年八月二十日思誠

堂)、『交合利害新説百箇條』 (明治十二年九月八日思誠堂)、『家

内の檢約
所規則一』 (名厨房實感) (嗜餅散人合著、明治十九年二月思誠堂藏版、

石原千城綴刻出版)、『^{政海}艶詩國會後日本』 (内題「國會後の日本」仙

橋散士名、明治二十年一月大阪・^{欽英堂}文海堂)、『博家寶』 (合著・望月

誠纂輯、回版、明治二十一年五月二十日思誠堂)、『^{教育}談海作文の友』

(内題「^{教育}談海作文の友」明治二十四年二月小川尚榮堂)等。